

北久米小だより

松山市立北久米小学校 発行

令和8年9月1日（火）No.3

「挨拶！協力！勉強！」

校長 檜垣 賢志

45日間の長い夏休みが終わり、久しぶりに元気な子どもたちの声が、学校に戻ってきました。1学期の終業式で話した「㊦ ゆくだいをかんばる」「㊦ んびりすごす」「㊦ じにすごす」特に「㊦ じにすごす」すなわち「自分の命は自分で守る」ということを全ての北久米っ子が守ってくれたことを大変うれしく思っています。

さて、2学期が始まりました。始業式では、次のことについて約束しました。

その①「進んで気持ちのよい挨拶をする」諸活動を通して、学校内外でたくさんの方々に接する機会が増えてきます。感謝の気持ちなどを進んで相手の方に伝えることのできるそのような素直な心をもった子どもたちに育てていきたいと思ひます。

その②「互いに助け合い、協力し合って活動する」運動会をはじめたくさんの行事が予定されています。子どもたちは行事を通していろいろなことを学び、そして成長していきます。互いを尊重し合う精神を育みながら、さらに大きな成長の糧となるように支援していきたいと思ひます。

その③「勉強を頑張る」11月には、本校で国語科の研究大会が開催されます。これをよい機会と捉え、国語科だけでなく他の教科についても学力の向上を図ることができるように努めてまいります。

今月末には、運動会練習が始まります。残暑厳しい中での練習が予想されます。また、学期末に向けては、インフルエンザ等の感染症の流行も十分に考えられます。熱中症や感染症対策を万全に行いながら、子どもたちにとって充実した教育活動を推進していきたいと思ひます。保護者の皆様、地域の皆様、今学期も引き続き本校の教育活動へのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「読書について」

教頭 宮内 健作

今年も暑い日が多かったように思ひます。連日、「熱中症警戒アラート」が発表され、熱中症対策が欠かせませんでした。来年以降も、今年と同じような天候が予想され、夏の過ごし方を考え直す必要がありそうです。

暑さのため屋外に出ることが難しいとき、室内で教育に関する本や歴史、先人に関する本を読むようにしました。普段、パソコンやスマートフォンの画面を見ることが多くなっているため、紙に印刷された文章を読むことは新鮮で、頭と体の中に内容がしみ込んでいく感覚をもちました。今年の夏だけで、気に入った本も何冊か見つかりました。

読書の大切さをあらためて調べてみると、次のようなことがあげられていました。

- 思考力・読解力の向上
- 知識と語彙力の向上
- 想像力と共感性の育み
- ストレス軽減とリラックス効果
- 集中力の強化
- 視野と価値観の拡大

読書をすると、新しい出会いがあり、自分の世界が広がったように感じます。朝、カリブさんが学校で読み聞かせをされるとき、子どもたちは引き込まれ、集中した表情をしています。昼休みに、図書館で読み聞かせをしたとき、子どもたちは真剣なまなざしで本を見つめていました。読書には、それほど大きな魅力があるのだと思ひます。これから気温が下がり、夜も長くなります。子どもたち一人一人に応じた「読書の秋」になるよう、声を掛けていこうと思ひます。

全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、授業改善や学習指導の充実を図ることを目的とした「全国学力・学習状況調査」が毎年実施されています。今年度は4月23日に実施され、本校でも6年生が国語科・算数科の2教科に取り組みました。

本校の結果を分析すると、算数科では県平均と同程度の結果が見られました。また、国語科では、文章で読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く力が高い正答率となりました。一方で、文章や資料から必要な情報を読み取り、根拠を基に考えを整理したり、自分の言葉でまとめたりする力には課題が見られました。

質問紙調査では、学習習慣や主体的に学ぶ姿勢、自己有用感などについて肯定的な結果が見られました。子どもたちの学習に向かう基盤が育まれていることが分かりました。こうしたよさを大切にしながら、確かな学力の定着につなげていくことが大切であると考えています。

この結果を踏まえ、本校では次のような取組を進めていきます。

(1) 児童が主体となる授業づくり

問いを大切にした授業や話し合い活動、振り返り（リフレクション）を充実させ、自ら考え、学びを深める力を育てていきます。

(2) 朝学習の充実

全校で朝学習を継続し、読む・書く・計算する力など、基礎・基本の定着を図ります。

(3) 学習習慣の定着

「きらきら北久米っ子ウィーク」などの取組を通して、読む・書く・聞く・話す力を育むとともに、家庭と連携しながら学習習慣の定着を図ります。

学力の向上には、学校での学びと家庭での学習習慣の積み重ねが欠かせません。今後も学校と家庭が連携し、一人一人のよさを生かしながら、子どもたちの確かな学力の育成に努めてまいります。ご家庭でも、読書や家庭学習、規則正しい生活習慣へのご協力をお願いいたします。

「熱中症の予防について」

養護教諭

長岡 真紀子

9月も厳しい暑さが予想されます。夏休み明けの子どもたちにとって、暑さは厳しく、暑さに慣れるのには2週間程度かかると言われています。北久米小学校では、熱中症の予防に努めてまいりますが、ご家庭でも、熱中症の予防にご協力ください。

熱中症の予防の原則

暑さを避ける

- 涼しい服装
- エアコンを利用する
- 帽子や日傘を利用する
- 日陰を利用する
- 暑い日や暑い時間帯は無理をしない

のどが渴いていなくても、こまめに水分補給

- 1時間ごと（休み時間ごと）に水分をとる
 - 外出前に水分補給
 - 大量に汗をかいたときは塩分補給
 - 運動中の水分補給は、冷たい水を
- ★ 深部体温が下がる ★ 胃にとどまる時間が短く、水分を吸収する小腸に速く移動

暑さに負けない体をつくる

- 十分な睡眠をとる
- 一日三食、しっかり食べる